

長門市油谷のキャトルステーションで実証された「山口型放牧」

長門農林水産事務所畜産部

1 実施場所

長門市油谷

2 取組時期

令和5年8月1日～令和5年9月15日

3 取組内容

長門市油谷で令和5年10月に稼働した「キャトルステーションながと」は各種メディアに取り上げられるなど注目を集めるスタートを切ることとなりました。キャトルステーションの整備にあたり、課題としてあげられたのが牛舎周辺の草地整備でした。この草地整備の一環として、長門管内では平成28年以来、7年ぶりに県のレンタカウ制度を活用し、県農林総合技術センター畜産技術部の繁殖雌牛2頭を用いた「山口型放牧」の実証を行いました。放牧面積は84aで、秋に差し掛かって野草が枯れ始めたあたりで退牧させました。短期間放牧だったため、残った野草は重機を用いて伐採しました。

キャトルステーションでは今後、自給飼料の確保を目的にこの度放牧実施後、跡地利用として牧草栽培を検討しており、自給飼料増産を目指す予定です。

4 写真



放牧開始時の様子



散策する放牧牛